

(様式3-2) 事後評価シート

番号	2	事業名	県営農村地域防災減災		市町村名	飯綱町		路河川名	-		箇所名(ふりがな)	東黒川(ひがしくろかわ)			
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>&lt;ため池&gt; 本ため池は、明治12年に築造され、9haの水田をかんがいしている。堤体から漏水があり、放置すると決壊の危険性がある。 (漏水量 84ℓ/分・・・改修基準 78ℓ/分) 地震時の緊急放流施設が未整備であり、地震時の安全性が不十分である。</p> <p>&lt;排水路&gt; 雨水が用水路に流入しているため、豪雨時は用水路から水が溢れ、土砂崩落が発生している。</p>										②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価	
	改修工事の際、既存の堤体の土を再利用し、環境への負荷を軽減した。											B			
事業目的	ため池と水路を整備し、下流の農地及び集落の被害防止と農業用水の安定供給を図る。										③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価	
事業概要	当初工期	H22～H26	費用対効果(当初時)	1.29	事業費(千円)		財源内訳(千円)					地元区が見廻り、草刈り、水利調整等の維持管理を行っている。		A	
	最終工期	H22～H25	費用対効果(評価時)	1.71	上段:当初/下段:最終( )は国補事業分以内数		国庫	その他	県債	一般財源					
	当初計画内容(主な工種)	ため池改修工 排水路工	N=1箇所 L=573m		150,000	75,000	31,500	39,000	4,500	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) (周辺住民、元区長、元耕作組合長から聞き取り)		評価			
	最終事業実績(主な工種)	ため池改修工 排水路工	N=1箇所 L=539m		112,000	56,000	23,520	29,000	3,480	A					
事業期間の延長、短縮理由と分析	補正予算の活用により、工期を1年短縮した。										④地域住民等の評価	<p>&lt;ため池&gt; ① 漏水がなくなり、下流の住民は安心している。 ② 用水の確保に苦労してきた地域であり、漏水がなくなったことは営農上での貢献も大きい。</p> <p>&lt;排水路&gt; ① 用水路と排水路を分離したため、雨水が用水路に流入しなくなり、溢水被害がなくなった。 ② 維持管理が楽になった。</p>			
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	入札差金等により、38,000千円の減額となった。											改善措置の必要性	特になし		
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)										評価	B			
	直接的効果 (定量的・定性的)	<p>&lt;ため池&gt; ① 堤体の改修により、漏水が防止され、用水の安定供給と災害の発生を防止できた。 ② 緊急放流施設を設置したことにより、地震時等の安全性が向上した。</p> <p>&lt;排水路&gt; 断面を拡幅したことにより、溢水がなくなり、集落の安全性が向上した。</p>										今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	<p>① 施設管理者の高齢化が進んでいるため、取水や緊急放流などの施設の改修に当たっては、安全で維持管理しやすく、操作が簡単な構造に配慮する。</p> <p>② 地震時や豪雨時に、遠方でため池の状況をカメラ等で監視できるシステムを導入する必要がある。</p> <p>③ 防災重点ため池(654箇所)については、ハード対策と併せ、ハザードマップ作成などのソフト対策も進める必要がある。</p>		
		間接的効果 (定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	<p>① 安全柵を設置したことにより、管理者などの安全性が向上した。</p> <p>② ため池が適正に維持され、良好な農村景観が保全されている。</p>										農政部公共事業評価委員会の意見	災害防止、用水の安定供給、維持管理労力の軽減が図られている。総合評価Aが妥当だと判断する。	
										長野県公共事業評価委員会の意見	農政部公共事業評価委員会の意見が妥当であると判断する。		評価監視委員会意見	妥当	
												評価の決定	A		